

けいはんな学研都市地域の振興に向けた具体的試み  
～ヘルスリテラシー向上を通して～（仮称）

準備会  
議事次第

1. 日時 2019年9月18日（水）10：00～12：00
2. 場所 公益財団法人国際高等研究所セミナー1 会議室

3. 出席 ※敬称略、五十音順、★印は2017年度時点から担当者変更

代表

高見 茂 国際高等研究所副所長、京都光華女子大学学長、京都大学学際融合教育研究推進センター特任教授

委員

有山 将人 生駒市都市計画課課長 ★

池田 一也 京田辺市企画政策部副部長、企画調整室長兼務

松山 美彦 奈良市都市整備部都市計画課長 ★

→9/18 代理出席：生田 一嘉（都市整備部都市計画課課長補佐）

上野 尚之（都市整備部都市計画課総務係）

大原 真仁 精華町総務部企画調整課長

→9/18 代理出席：山崎 信一（企画調整課課長補佐）

高橋 賢藏 サントリーホールディングス株式会社顧問、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社取締役会長

樽舘 孝寿 京都総合経済研究所取締役調査部長

松田 克也 京都府商工労働観光部文化学術研究都市推進課長 ★

→9/18 代理出席：田中 照彦（京都府政策企画部企画参事（総合計画担当・地域振興担当）兼商工労働観光部副部長付参事）

（欠席）

奥田 真行 木津川市マチオモイ部学研企画課長★

加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科教授

坂野 寿和 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）事業開発室担当部長

中村 佳正 京都大学大学院情報学研究科長

村田 崇 奈良県地域振興部部長

山田 武士 NTTコミュニケーション科学基礎研究所所長 ★

4. 準備会開催趣旨

この度、2015年度から17年度にかけて行った「けいはんな未来」懇談会、及び「けいはんな未来」専門検討部会での議論を踏まえ、更に具体的検討をスタートさせ、けいはんな学研都市地域の振興をはかる方策を検討するに至った。

けいはんな学研都市地域が実施してきた科学技術研究機関を集積した街づくり、研究機関のみならず住民生活や地域性を意識した街づくりは、日本が喫緊の課題として抱える少子高齢化等の社会的課題や、地球規模課題に対峙する世界的動向に対し、地域発の具体的な対応を打ち出す可能性を備える。本検討では、人間の活動の基本的要素に目を向け、この地域に働く人々や住民一人ひとりの生活、健康、教育に焦点を当てる。特に、基本的健康情報を取得、理解し、評価、活用する能力

——ヘルスリテラシーの向上は、総合的な地域振興プランの一つの要素になりうるのではないだろうか。

本格的な検討を進めるにあたり、9月18日の会合は、そのための準備会との位置付けで開催するものである。本準備会においては、専門検討部会メンバーの皆様の知見や現場でのご経験をご教示いただき、検討の必要性の確認、ゴールのイメージについて話し合い、主要な論点、メンバー追加の要否、話題提供者候補、調査事項など今後の道筋を考える。それを基に、次回以降、本格的な議論をスタートさせる。

## 5. 議題

- (1) 検討の必要性、具体化の方向、ゴールのイメージについて
- (2) 今後の進め方について：主要な論点、メンバー追加の要否、話題提供者、調査事項など
- (3) 次回について
- (4) その他

## 6. 資料

- (1) 準備会の開催に際して
- (2) 「けいはんな学研都市の30年後に向けて」（「けいはんな未来」懇談会報告書）
- (3) 「けいはんな未来」懇談会専門検討部会答申
- (4) 国際高等研究所アニュアルレポート 2018